

やまきたまち 議会 だより

議会のおと

P 3 …小中学校の全教室にエアコン設置
P 4～9 …新議員3名登壇
P 10～11…議会力の向上へ



そうだ！第1日曜日は朝市へいこう
やまきた駅前朝市実行委員会(関連記事は裏表紙に)

いざ・・・という時のために！

～災害援護資金の活用を～

6月定例会
質疑を
ピックアップ



何が変わるの？

- ▶ 貸付を受ける人は保証人が必要となる
- ▶ これまでの貸付利率3%から3%以内で町長が定める率となる
- ▶ 月賦償還も可能となる

災害援護資金とは？

自然災害により、負傷または住居や家財が大きな損害を受けた方のうち、一定所得以下の世帯に対し、市町村が最高 350 万円を年利 3% で貸し付ける制度。貸付に際し、保証人の有無は各自治体の判断による。

条例改正

令和元年第2回定例会を、6月14日～17日まで開催しました。
主な議題は、条例改正、一般会計補正予算等を審議し、全て原案通り可決しました。一般質問は、5人の議員が登壇しました。
(一般質問は4ページから9ページに掲載)

○山北町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定

瀬戸顯議員 大きな災害にあった場合、保証人を立てること自体が難しいのではないかと。

また、保証人が必要とした場合でも、利率については、最大限町長の裁量を活かし、返済が滞らない範囲で運用を図るべきではないかと。

福祉課長 貸付金の原資は、国が3分の2、県が3分の1であり、貸付金が回収できなくても、返済日がきたら町が立て替え返済しなくてはならない。

町で実施する他の貸付金制度においても、債権回収が出来ていないものもある。債権管理の観点から、保証人を立てる必要があると判断した。

町長 災害の程度にもよるが、本来は元金返済が基本的な考え方であるので、利率の引き下げ等は考慮していききたい。
山崎議員 利率は町長の裁量によって3%以内に決定されるが、災害の程度によって、利率に関する明確な基準を設けた方が利用者にとってはわかりやすいのではないかと。
町長 基準を設けるのではなく、都度ケースバイケースで目的に応じた利率を設定していきたい。
堀口議員 保証人の条件はあるのか。
福祉課長 条件は特にない。

6月18日に発生した新潟・山形地震により被災された方には心からお見舞い申し上げます。

当町と交流のある新潟県村上市(旧山北町)では、大きな被害がありました。町では8月30日まで災害義援金を受け付けています。

補正予算

○令和元年度一般会計補正予算

歳入の主なもの、国庫補助金としてプレミアム付き商品券事務費407万円、幼児教育無償化システム改修等事業691万円など。
歳出の主なもの、岸地区高齢者いきいきセンター空調機更新125万円、洒水の滝遊歩道用地取得費37万円、豊かな学びの支援推進事業42万円など。

石田議員 プレミアム付き商品券の対象者2100人の内訳は。

福祉課長 住民税非課税世帯2000人、子育て世帯1000人である。

児玉議員 歳入の幼児教育無償化システム改修等事業691万円の使途は。

副町長 10月から実施を予定している幼児教育無償化に対応する電算システムを改修するもの。

請負契約

○平成30年度山北町立小中学校空調機器整備工事（繰越明許）

請負契約の締結

今回の工事は、国庫補助金を活用し、昨年度実施するものであったが、工事設計から業者選定、空調機本体の納期等を鑑み、年度内の執行が終わらない見込みであることから、令和元年度に繰り越して実施するもの。

本工事に対する請負契約先が決定したため内容審議を実施した。



（工事概要）

川村小学校空調設備改修工事

特別教室他 計18基

三保小学校空調設備改修工事

特別教室 計5基

山北中学校空調設備改修工事

柔剣道場他 計28基

受変電設備改修一式

（契約の相手）

株式会社イケダ電気

（契約金額）

9952万8千円

清水議員 工事対象の特別教室とは。

教育長 学級教室としては既に工事完了済みであり、今回は少人数教室が主なものである。

石田議員 設置が今回で全て終了するとのことだが、使用基準はあるのか。

教育長 教育委員会としては、特に基準は定めてはいないが、冷暖房の設定温度等は各学校で統一した基準で使っている。

また、全ての教室が終了するのではなく、今回は子どもたちに関わる教室だけであり、応接室などの一部の部屋は残っている。

議案等審議の結果

第2回定例会（6月14日～17日）

件名	月日	審議結果	件名	月日	審議結果
山北町税条例等の一部を改正する条例の制定について	6月17日	可決 (賛成全員)	令和元年度山北町一般会計補正予算(第1号)	6月17日	可決 (賛成全員)
山北町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	6月17日	可決 (賛成全員)	平成30年度山北町立小中学校空調機器整備工事（繰越明許）請負契約の締結について	6月17日	可決 (賛成全員)
山北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	6月17日	可決 (賛成全員)	平成30年度山北町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	6月17日	報告のみ
山北町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	6月17日	可決 (賛成全員)	平成30年度山北町土地開発公社事業報告及び決算報告について	6月17日	報告のみ

ズバツと問う！

一般質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、提案や意見を述べ、時には是正を求め、新たな施策方針等を問うものです。

原稿は、質問議員が作成しています。

ページ	質 問 事 項	質 問 議 員
5	広域地域連携に向けた「南箱道路(通称)」の活用について	堀 口 恵 一
6	公共交通機関の充実と高齢者の暮らしやすい生活環境を	瀬 戸 恵津子
7	防災対策の見直しで更なる強化を	石 田 照 子
8	旧山北体育館跡地の利用について	清 水 明
9	森林環境譲与税の具体的な計画は	山 田 陽 子



堀口恵一 議員

問 広域地域連携に向けた「南箱道路(通称)」の活用について

答 箱根バス運行、向原フルスマートインター、丸山ミュージアムは現時点では考えていない

現在、南足柄市矢倉沢と箱根町仙石原を結ぶ「南箱道路(通称)」の工事が来年3月までの開通を目指して進められている。これができる際には山北町にとっても地域活性化の大きな効果が見込まれると思う。そこで質問する。

問 開通により山北箱根相互の観光ルートが確立できる。また、通勤にも利用できると思われる。当町の町内循環バス箱根往復についてはどう考えるか。

答 南箱道路が開通しても強羅や元箱根までは遠く、通勤利用は考えられない。設計車両は小型自動車等であり、町内循環バスは通行できないと聞いて



いる。このため、現時点で検討することは考えていない。

問 開通で箱根町との連携が強くなり、新たなインターを向原地区に設置すれば東京との広域連携も期待できる。町の最大のチャンスであり、東京から来る人々にとってもメリットが大きいので、検討して設置すべきと思うがいかがか。

答 現在、川西地区にハーフ(東京方面のみ出入り可)スマートインターチェンジの建設工事に取り組んでいる。箇所については、町内を通る全延長から接続が困難な橋とトンネルの部分を除いた部分で「インターチェンジ幾何構造設計要領」に基づき選定された唯一の箇所と考えている。

問 「唯一の箇所」とのことだが、他にも一つ向原地区があり、こちらならフルスマートインターができるのではないか。

答 土工区間の距離が不足しており(一部橋梁部の拡幅や新たに用地取得、アクセス道路の整備などが必要になるため)費用が莫大になるので考えてはいない。

問 箱根観光客を山北町に呼び込むため浅間山丸山は総合的にインパクトのある施設にすべきと思う。過去に町のまちづくり委員会が提案したテーマパ

答 丸山については企業誘致と住宅供給、浅間山については河村城跡を中心にD52を含め観光振興を展開している。よって町が進めている計画と大きな相違がある。

ークでカバーするということ、で、「ひよつこりひよたん島ミュージアム」(丸山の新東名工事事務所跡地利用)運営をNHKなどに依頼するなどしてはいかがか。



NEXCO 中日本提供 (2018 年時点での完成予想)

問 公共交通機関の充実と高齢者の暮らしやすい生活環境を

答 可能な限り利用しやすいものにする



瀬戸恵津子 議員

現在生活交通確保対策として町内循環バスが運行されているが、運行されない清水・三保・高松地区では高齢者福祉タクシー助成事業を実施している。

本年度からさらにタクシー券の枚数を増やすとともに、共和・平山瀬戸地区の方へもタクシー券を配布し、山北・岸・向原地区の方へは循環バス助成券を配布することになり支援が充実される。

しかし、運行エリアやダイヤの充実が先ではないのか、また高齢者の免許証返納者や買物・外出支援の利用を先に進めるべきかと思ひ、質問する。

問 本当に必要な方への配慮や支援の検討は。

答 循環バスは、3年に一度の見直しと、御殿場線の接続に合わせたダイヤ改正や路線の変更等により、運行エリアやダイヤの充実を図っている。

問 地区により運行本数が少なく、停留所まで遠いためバス助成券を、利用しにくい事への対応は。

答 運行本数については考えていく。バス停までの距離のある方へは、福祉タクシー券を組み合わせるなどの方策を検討していく。



更に使いやすい運行を

問 循環バスの車両耐用年数が数年と聞いている。また、所管が違う（※）いくつもの交通体系はそのままでよいのか。新たな交通対策として、デマンドバスや乗り合いタクシー等の導入の検討は。

答 循環バスの耐用年数だが今後10年程度は運行できるので、これからも活用する。

所管の違ういくつもの交通体系については、整理していかねければならないと考えている。当面は柔軟に対応して様々な地域交通の活用を考えていきたい。

（※）いくつもの交通体系とは町内循環バス、スクールバス、共和福祉バス、福祉タクシー、富士急湘南バス（民間）を言う。

高齢者の外出支援について

問 敬老の集いの全参加者に送迎の要望を聞くべきだが。

答 今年度から75歳以上の方に郵送でお知らせをし、送迎は要望があれば全員に対応できるようにする。



スクールバスで元気に登下校



石田照子 議員

問 防災対策の見直しで更なる強化を

答 専門的な知識を持った防災リーダーを育成

昨年、ショッキングな新聞記事が掲載された。

それは、1日降雨量530mmの激しい雨が降った場合の、酒匂川の氾濫を想定した場合であり、山北町岸の一部分で、9.3mの浸水深が予想されるとの内容であった。

近くには（※1）広域避難場所もあることから、町民の生命・財産を守るべき行政の責務として、早急な改善をするべきと思ひ質問する。

問 この記事に触れ、町長はどのようなことを考えたか。

答 町民と災害リスク情報を共有し、広域避難場所等の見直しも含めて、積極的な減災対策の取り組みが必要と感じた。

問 以前は、一時避難場所は「地域がきめる」との見解であったが、今後は、町も積極的に関わっていくとの解釈で良いのか。

答 町民の生命・財産を守っていくのが行政の役割なので、積極的に関わっていく。

問 （※2）要配慮者が避難する（※3）福祉避難所への避難は、身体的負担を考えると、直接行くことができるようになるべきではないか。

答 福祉避難所が近い場合や、避難経路が寸断された場合など、町からの連絡を受け、直接避難するケースも考えられる。

問 近くの公共施設への避難も、考えるべきではないのか。

答 町へ連絡していただければ可能である。

問 自主防災組織と防災リーダーの現状は。

答 自治会役員が防災リーダーを兼務している。そのため、防災リーダーは短期間で交代している。

今後は、自治会役員とは別に、専門的な知識を持った防災リーダーを育成し、自主防災組織の活動を支援できるよう検討していく。

問 7月オープン予定のドラッグストアと早急に災害協定を結ぶべきではないのか。

答 生活必要物資の確保は重要なため、災害時における物資調達に関する協定の締結を考えている。

- ※1 広域避難場所
自治会別に集合する屋外の公園や広場
(避難所 行政指定の学校など、公共の屋内の建物)
- ※2 要配慮者
高齢者、障がい者、乳幼児など、防災上配慮しなければならない方
- ※3 福祉避難所
要配慮者が、一般の避難所から移送される二次受け入れ先で、市町村が開設する



田中丘隅の指揮により、1726年洪水を防ぐための東西堤が完成したが、氾濫した際には被害が危惧される酒匂川

問 旧山北体育館跡地の利用について



清水 明 議員

答 広く要望を受けて多目的な施設を考える

旧山北体育館跡地の利用については、箱物を作るならば武道室と集会施設は考えられるとの町長の見解を得ている。

地域の施設として利用者の対象を広くし、旧施設の枠にとらわれず多目的な施設にする必要があると考えられる。

問 検討委員会では素案が提示され話し合いが進められると考える。

今回は白紙の状態であるというが建物建設であるので意見が出にくいのではないか。

答 あらかじめ原案を提示してしまうとイメージが一人歩きしてしまいがちなので、原案等は提示せず、自由に意見を出してもらおうが、旧山北体育館の代替施設としての基本的な考えは持っている。

問 防災拠点としての役割、地域の高齢者、学童の立ち寄り施設等に活用できるような地域の公民館としての機能も併せ持たせることも考えて、検討会議には利用者代表、地域住民の代表を集め、利用者の使い勝手を良くするため、時間をかけて取り組む考えはあるのか。

答 「山北町第5次総合計画後期基本計画」を策定するにあたり、町が実施した町民アンケート調査等から旧山北体育館の跡地には、武道場的な機能を備えた多目的な施設の建設が必要であると考ええる。

山北町体育施設建設検討委員会を設置し、広く各層から代表を選出し、広く町民の意見を集めることにしている。

体育施設を基本としながらも、防災拠点の施設としての役割や、自治会・各種団体等の集会施設の機能も当然必要と考え、多くの用途で利用できる、身の丈に合った施設を建設したいと考えている。

問 検討委員会のメンバーに設計、建設関係が加わっていない。

建築については予算、工法の縛りがかなり最終的に委員の意見、要望がかなり通らなくなってしまう恐れがあるが、変更のチェックはどこまで委員会としてはできるのか。

答 話し合いを受け、設計業者等も加えた中で順次資料を提示し、検討を進めたい。委員が最終決定段階まで関わることは難しいと思われる。



旧山北体育館の跡地



山田陽子 議員

問 森林環境譲与税の具体的な計画は

答 これを機に一つ一つ取り組んでいきたい

平成29年12月に地球温暖化対策として「平成30年度税制改正の大綱」が閣議決定され、森林環境税及び森林環境譲与税が創設された。

森林環境税は平成36年から一人当たり年間1000円が個人住民税として徴収される。

森林環境譲与税は先行して今年度から市町村及び都道府県に譲与が開始されることとなっている。そこで質問する。

問 森林環境譲与税の譲与見込み額とその具体的な計画は。

答 今年度の譲与額の見込みは、470万円～640万円程度となる。計画としては、整備が行き届いていない林内路網の改修を先行していく。

他の自治体の動向を注視しつつ今後森林現場の課題解決に向けた取り組みを図っていききたい。また基金条例の制定も検討している。

問 当町は山林が9割を占め、神奈川県の水源地である。森林整備及び、担い手の育成、木材利用に今まで以上に力を入れた取り組みの考えは。

答 県の水源環境保全税の使途と重複しない内容で検討していく。

また山の現状、森林の役割を町内の子どもたちをはじめ、都市部の子どもたちにも普及啓発や勉強してもらう機会をつくっていく。木材を給湯施設のエネルギーや、林産物等で最後まで活用できるような仕組みもこの税をきっかけに目指していきたい。



町内の木材を利用し木質化された共和のもりセンター



手入れが行き届いていない町内の人口林

問 森林のない都市部にも森林環境譲与税が配分されるので、交流のある品川区や川崎市など木材の生産地として売り込むことはできないか。

答 町内で対応できるのか今後検討していく。木材に新たな付加価値をつけたり、町産木材を使った加工品の可能性について考えていきたい。また都市部の人に山を貸すようなことも考えていきたい。

問 山北町第5次総合計画の林業の振興計画進捗状況及び、計画内の公共施設への木材利用の今後の予定は。

答 前期基本計画の検証では概ね目標を達成している。今後も着実に事業を推進していきたい。旧山北体育館や東山北1000まちづくり基本計画内の水上町営住宅等で木材を大量に活用していきたい。また個人にも木材を使ってもらえるよう取り組んでいきたい。

「議会改革」町民参加がカギ 正副委員長研修会

令和元年 5 月 24 日（金）神奈川県自治会館

「人口減少において町村議会が果たす役割」と題して研修会が開催されました。

人口減少社会こそ、多様性が求められ、議会の役割は重要です。

しかし現状は、定数削減、報酬の引き下げばかりが言われてしまう不幸な状況にあります。

町民の意見を反映させ、反映させたことが町民に見えることが議会の活性化には重要なことであり、議会運営には町民参加が鍵となるのではないのでしょうか。

聴講後、重要視してきた広聴活動の中で、町民意見の反映が町民に見えていたのか自問自答するとともに、頂いた意見は政策立案につなげるなど、町民の意見を反映させることで山北町議会の信頼向上に努められるのではと感じました。



議会改革は町民とともに



全国から約 1,800 名もの町村議会議長・副議長が集結
議会改革を積極的に実施する 3 議会から、事例発表も行われた

「これからの町村議会を考える」 議長・副議長研修会

令和元年 5 月 28 日（火）東京国際フォーラム

昨今の町村議会の現状は全国どの自治体も人口減を含め、行財政そのものが縮小傾向にあります。

同時に、住民も議会に対し定数や議会費等の削減意識が高くなり、議会によっては、定数削減による議員活動の増加や低い報酬額などにより、なり手不足問題が広がり、負のスパイラルに陥っている状況にあります。

山北町議会もこれまで約 2 年間にわたり、議員定数・報酬・なり手不足等について議論を進めてきました。こうした問題を解決していくためには、町民と議会の信頼関係の強化にあると考えています。

今回の研修を通じて、議会としても、これまでより町民との対話の場を増やし、更なる議会活動の充実を図っていきます。

研修会レポート ③



熱心に聞き入る新人議員

「新議員の資質向上のために」

～新議員研修会を開催しました～

5/13 県議長会新議員研修会

@神奈川自治会館

5/20 新議員研修会

@山北町役場

山北町議会は令和元年 5 月 1 日から 7 名の議員が入れ替わり、新体制でスタートしました。

今回、新議員 7 名を対象に神奈川県町村議会議長会及び山北町において、新議員研修を開催しました。

2 日間の研修を通して、神奈川県町村議会の現状、山北町の財政状況や施政方針、そして議会議員としてのあり方について理解を深めることができました。

今後も議会力強化に向け、議会議員としての更なる向上に努めてまいります。



国府津く御殿場間で交通系 IC カードの利用を促進する議員連盟

「エリアまたぎ」の解決に向けて

令和元年 6 月 28 日（金）生涯学習センター

御殿場線に交通系 IC カードの導入に向け、平成 29 年に発足した議員連盟の第 3 回定期総会を開催しました。

議員連盟のこれまでの活動と近隣市町首長からなる御殿場線活用推進協議会の活動が実り、平成 31 年 3 月 2 日から足柄駅～下曽我駅の区間で IC カードの利用が可能となりました。

しかし、JR 東日本エリアである国府津駅を経由しての利用ができない課題は引き続き残ります。

今後、ラグビーワールドカップや東京 2020 オリンピック・パラリンピックを控え、インバウンド観光客を含めた更なる御殿場線利用者の利便性を高めていく活動は、本連盟の最重要課題です。

今回の総会で役員改選がなされ、

新代表に当議会の児玉洋一副議長、事務局長に瀬戸恵津子議員が就任しました。

さらに関係機関と情報交換を図りながら、「エリアまたぎ」解決に向けて JR 各社へ要望活動を進めていきます。



沿線以外の市町議員も含め、議員連盟会員数は 70 名を超える「エリアまたぎ」問題の解決について、説明する児玉新代表

活きいきひろば

いつも楽しくやっています

やまきた駅前朝市実行委員会

委員長 石田 一郎さん



1月を除く毎月第1日曜日に開催している「やまきた駅前朝市」もお陰様で13年目を迎えました。

当初は町内のお店や地域組合を知ってもらう目的ではじめた朝市、その想いに賛同していただける店舗、地域組合が集まって朝市がはじまりました。開催当初から行っているガラガラ抽選は、月替わりの景品にお客さんが一喜一憂する様子が今でも伺えます。

二部構成にしてからは、町外からも参加してくださる店舗さんも増え、店主とお客さん、お客さん同士など、人との繋がり、コミュニケーションをとる憩いの場という新たな役割を持った朝市です。

近所や地元の方々のもとより、山へ向かうハイカーやツーリング中の方など観光客の方も寄っていただいて、賑やかで和気あいあいとお昼まで開催しています。これからも、皆様のご来場をお待ちしております。

やまきた町議会 おしゃべり Cafe を開催します

町議会では、皆さまとの意見交換の場を増やすことを目的に「おしゃべり Cafe」をOPENします。日頃、議員は何してるの？山北町はどうなっていくの？私の思いを聴いて！など…なんでも結構です。気軽に立ち寄り頂き、皆さまの『声』をお聞かせください。

日 時：8月20日(火)
時 間：13:30～16:00
場 所：小田原百貨店山北店
(イトインコーナー)

※ 議員数名とお茶を飲みながらおしゃべりしましょう！



次回は 8 月 4 日 笑顔でお待ちしてま～す

議会の傍聴においでください

第3回定例会(予定) **9月5日(木)～**

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ 議会事務局 **75-3653**

議会ホームページ

山北町ホームページ

→町議会のアイコンをクリック



広報分科会
会長 山田 陽子
副会長 堀口 恵一
委員 和田 成功
清水 明
児玉 洋一
遠藤 和秀

編集後記

いよいよ夏本番、夏休みでレジャーに出かける方、仕事で汗をかいている方、家で避暑をされている方その他色々あるかと思いますが、暑さ厳しい中、体調等十分注意して乗り切りましょう！

広報紙を担当させていただき2回目の発行となりますが、制作過程では議論も活発で、掲載する写真についてもいつだれがどのタイミングで撮ろうかなど色々話し合いました。最初は手に取ってもらうことから始まるので表紙のインパクトは重要です。

内容についても、誰もが読みやすい広報紙にしていけるよう努力していきますので、時間の空いた時、山北町を考えながらゆっくり読んでいただけたら幸いです。

(堀口恵一)